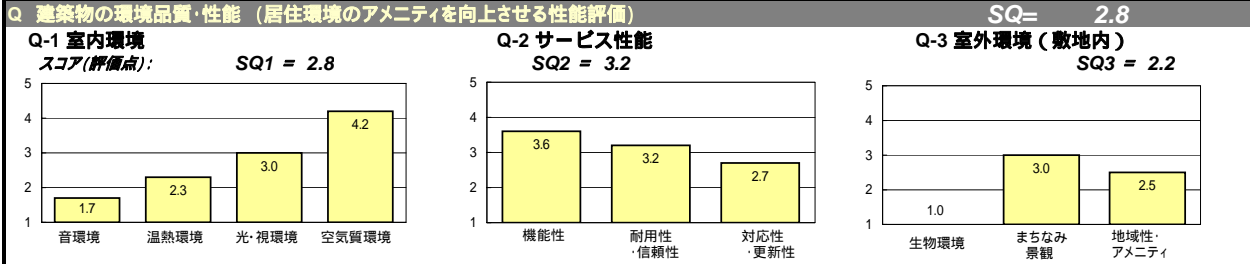


CASBEE

新築

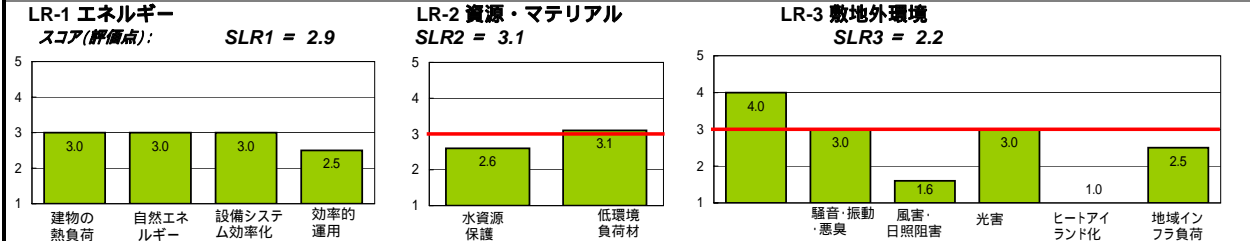
(2)-1 環境性能評価結果 (バーチャート)

注1



LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

SLR= 2.7

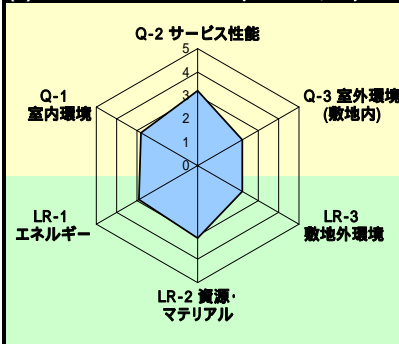


(2)-2 環境性能評価結果 (レーダーチャート)

(2)-3 環境性能効率

BEE

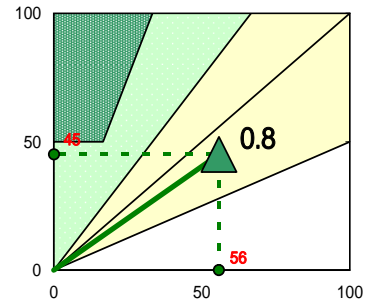
注2



$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{45.0}{55.7} = 0.8$$



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別種の重要評価項目

注3

(3)-1 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

< 実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入 >

	年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	0	10	20	30	40	50 %
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²							
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²							
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²							
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²							
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²							
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²							

(3)-2 デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画

凡例
備考

Q: Quality L: Load LR: Load Reduction SQ: Score of Q category SLR: Score of LR category BEE: Building Environmental Efficiency
 注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点、NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外、
 注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1、Q-2、Q-3)のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値から算定。
 Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1、LR-2、LR-3)のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値から算定。
 注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。